

第2学年 道徳学習指導案

日時 平成16年 11月 9日(火) 授業
学級 2年1組 男11名 女13名 計24名
授業者 菊池勝彦

総合単元名 がんばるっていいな

総合単元のねらい

自分の願いや目標を実現させるために、粘り強く努力していこうとする心を育てる。

総合単元的な道徳学習の構想について

子どもたちは、学校生活の中で学習面・生活面の目標を立て取り組んで決めている。また、自分なりの目標を立て、日々努力している子どももいる。しかし、自分で決めためあてを忘れてしまったり、がんばることがつらくなったり、難しいと諦めてしまったり、途中であきらめてしまったり、見られる。そこで、2学期のゴールを迎えるにあたり、もう一度自分のためあてを振り返らせ、自分の願いや目標を達成するために、すぐにあきらめてしまわずに粘り強く努力することが大切であることに気づかせると共に達成したときの喜びを体験させることにより、努力することの良さに気づかせたいと考え、総合単元として「がんばるっていいな」を設定した。本単元では、「出会う」の段階のオリエンテーション「めあてをふりかえろう」で自分が2学期のはじめに立てた目標について振り返らせ、本総合単元への方向付けをした。そして、あと1ヶ月の半に迫った2学期のゴールに向けてどんなことをがんばったらよいか、自分のがんばらなければならないことは何かを明確にしたい。また、自分のがんばりの様子を振り返らせながら、「出会う」の道徳の時間につなげ、自分がやらなければならないことにしっかりと自分の力で取り組んでいこうという気持ちを持たせたい。そして、2学期のまとめに向け、自分たちのまわりにはたくさりんやらなければならないことがあることに気づかせ、それらに取り組ませいく活動を組み、帰りの会で「スペシャルきりぎりす発表」をし、互いのがんばりを認め合いながら、がんばることの良さをと感じ取らせ、「深める」の授業へと結びつけていきたい。「深める」の授業では、努力し続けることが願いの実現や目標達成につながることに気づかせ、がんばることの良さをさらに深め、自分もそうなりたいという意欲を持たせたい。それをもとに、「生かす」では、「チャレンジ発表会」を計画し、お互いのがんばりを認め喜び合い、さらに将来の自分への手紙を書き、夢や目標に向かってこれからも努力していこうとする気持ちを高めていきたい。

子どもたちの「勤勉努力」に関わっての実態について知るために、意識調査を行った。結果は、以下の通りである。

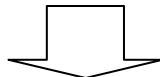
「勤勉努力」に関する意識調査 (調査人数 2年生 48名)

- あなたは自分なりにめあてを持っていますか。
ある 47人 ない 1人
- 「持っている」と答えた人は、それはどんなめあてですか。
 - ・鉄棒で逆上がりができるようになりたい。
 - ・勉強を頑張りたい。
 - ・縄跳びで100回跳びたい。
- そのめあてに対して、どのようにがんばっていますか。
 - ・いつも練習している。
 - ・一生懸命がんばる。
 - ・ときどき練習。
- 自分でやらなければならないことにはどんなことがありますか。
 - ・勉強・虫の世話・道具そろえ・係の仕事・宿題・学校へ行く・手伝い
- 自分で粘り強くやり遂げたということが何かありますか。
ある 38人 ない 9人
- 「ある」と答えた人は、それはどんなことですか。その時の気持ちも書いてください。
 - ・夏休みの宿題。
 - ・ピアノで難しい曲をがんばった。
 - ・鉄棒の逆上がり
- とちゅうであきらめてしまったということは何かありますか。
ある 17人 ない 30人
- 「ある」と答えた人は、どうしてとちゅうでやめてしまったのでしょうか。
 - ・テレビとかゲームにはまってしまった。
 - ・バレエの先生がこわかったから。
 - ・ころんでしまったから。
 - ・あとでやろうと思ったから。
 - ・やりたくなかったから。

意識調査から、1人1人がめあてをしっかりと持ち生活していることがわかる。しかし、その取り組みの様子については、様々で毎日のように努力している子どももいれば、ときどきという子どももいる。粘り強くやり遂げた経験を持つ子どもが多かったが、その多くは一過性のもので長い時間をかけてやり遂げたものは少なかった。とちゅうであきらめた経験では、やりたくない、めんどくさい、疲れるなど自分への甘えが感じられた。

総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科	特別活動	日常生活	家庭・地域
出 会 う	11月 1週	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを忘れてしまっていた。 ・達成できそうもないな。 ・今からでもがんばってみよう。 ・がんばってきたから最後までしっかりやろう。 ・自分が決めためあては、しっかりとやっいていこう。 ・自分の力で、やり抜くことは大切なことだ。 ・自分が決めためあてを達成できるようにがんばろう。 	オリエンテーション ・自分のめあてを振り返り、2学期のまとめに向けてがんばっていかうという気持ちを持たせる。			
	11月 2週		学級活動 「自分にチャレンジ」 ・2学期のゴールを目指して、がんばりたいことを明確にさせ、取り組ませる。	チャレンジ日記 ・自分の取り組みの様子について、毎日振り返らせる。	道徳の時間（本時） 主題名 じぶんの力で 1 - (1) 節度・節制、自立 資料名 「ねこの目」（出典：学研） ねらい 自分できることは他人の力を借りず、自分の力でやりぬこうとする心を育てる。	
深 め る	11月 3週	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分の力でがんばらなくては。 ・たいへんだなあ。 ・なかなかうまくいかない。 ・いやだなあ。 ・みんなもがんばっている。負けられないぞ。 ・進級できたぞ。この調子でがんばろう。 ・目標に向かって、ねばり強く努力することが大切なんだ。 	算数 「かけ算九九」 体育 「縄跳び運動」 ・進級合格カードを使い、意欲を持たせ、取り組ませる。	おすすめ読書 ・読書コーナーを設け、主人公のがんばる姿が描かれている本などを紹介し、意識を高める。	帰りの会 「スペシャルきらり、発見」 ・自分や友達のがんばりを見つけ、みんなで認め合い、がんばることの良さに気づかせる。（家庭からも知らせていただく。）	
			道徳の時間 主題名 粘り強くがんばる 1 - (2) 勤勉努力 資料名 ぼくは「のび太」でした （出典：東書） ねらい 願いや目標に向かい、一生懸命努力しようとする意欲を高める。			
生 か す	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばって取り組んでよかった。 ・やれば自分もできるんだ。 ・これからもがんばろう。 ・未来の自分へ、今ががんばっている自分を教えてあげよう。 	国語（文集作り） 「未来の自分へ」 ・未来の自分を思い描き、こんなふうになれたらいいな、そのために今自分がどんなことをがんばっているか手紙を書かせ、今後の意欲付けをさせる。	学級活動 「チャレンジ発表会・収穫パーティーをしよう」 ・2学期を振り返り、自分たちががんばってきたことを喜び合い、さらにがんばっていかうという気持ちを持たせる。		



目標に向かって努力し続ける子ども

本時の指導

- 1 主題名 じぶんの力で 1 - (1) 節度・節制、自立
- 2 資料名 「ねこの目」 (出典 : 「みんなのどうとく」学研)
- 3 ねらい

自分でできることは他人の力を借りず、自分の力でやり抜こうとする心を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

低学年の内容項目 1 - (1) は「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。」と示されている。これは、基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活ができる児童を育てようとする内容項目である。

現代は少子家族や過保護などに伴い、いろいろな面で親に手をかけてもらうことが多く、工夫したり失敗したりしなくても生活を送ることができる。しかし、親や他人の手を借りずに自分でやらなければならないこともたくさんある。この時期の児童は、まだ自己中心性が残っていて、自分のことを自主的にできなかつたり、はっきりした態度を取れなかつたりしている。自立とは、他人の保護や干渉を受けずに、自分の考えで行動することである。児童は近い将来、親元を離れ、自分の力で生きていかなければならない。そのためには、この時期から日常生活において、自分でできることは自分でする生活習慣を十分に身に付けておくことが大切であると考え。

本時は「出会う」段階の「道徳の時間」として、勉強や日常生活の中で、自分のことは自分でやらなければならないことの大切さに気付かせることをねらいとしている。そして、それは単なるしつけではなく、児童自身が内面からそうすることが望ましいことだと自覚することが必要であると考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

子どもたちは、学校生活の中でやらなくてはならない着替えや学習用具の準備など、少々時間がかかっても自分でしっかり行っている。しかし、何に対しても初めは意欲的に取り組むが、難しいことや他に興味があることがあると長続きしない。学習で分からない問題が出た時など、すぐに友達に答えを聞いたり、係の仕事を友達に任せて遊びに行ったりと、他人任せにしてしまう面が見られる。また、家庭でも自分でやらなければならないことをお家の人にしてもらっている児童もいる。

そこで、自分のことは自分ですることの大切さに気付かせ、困難なことや思い通りにいかないことがあっても、自分の力で最後までやり抜こうとする実践への意欲を育てたい。

(3) 資料について

「わたし」はねこのお面作りをしていたが、目の穴を開けるのがなかなか上手くいかなかった。お姉ちゃんにやってあげると言われ、「わたし」の心は揺れる。しかし、自分でやることを決意し、お面を完成させる。お面は下手なままではあったが、次の日、先生にほめられたことで、「わたし」は自分でやってよかったと思うという内容である。

身近にありそうな出来事を扱った資料なので、児童は自分の体験と重ね合わせて考えることができると思われる。迷いながらも、最終的に自分の力でやってよかったと思う主人公の気持ちを考えることを通して、自分の力でやり抜くことの大切さについて考えることができる適切な資料であると考え。

5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫 (仮説...手立て 2 とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

< 表現活動を取り入れた展開の工夫 >

- ・ 「わたし」が自分でやることを決意し、なんとかお面を仕上げた場面で役割演技をすることで、自分の力でやり抜こうとした気持ちをつかませ、ねらいとする価値を引き出したい。

< 書く活動を取り入れた展開の工夫 >

- ・ 展開後段で、自分の力で最後までがんばったことを具体的に書かせることにより、自分自身をしっかりと見つめさせたい。

6 資料分析

場面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図 / 発問
<p>「わたし」は、ねこのお面作りをしていたが、目の穴を開けるのがなかなかうまくできなかった。</p>	<p>(わたし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして上手くいかないの。 ・ めんどくさい。 ・ くやしい。 ・ うまく作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うまくできないと嫌になる。 ・ ぼくにもそういうことがある。 ・ うまく作りたいたろうな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目の穴をなかなかうまく開けられない時の、「わたし」の苛立ちやくやしい思いに共感させる。
			<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">目の穴がなかなかうまく開かない時、「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。</p>
<p>お姉ちゃんに「うまくきってあげるからかしてごらん」と言われ、「わたし」の心は揺れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ やってまあおう。 ・ お姉ちゃんにやってもらった方がうまくいくだろう。 ・ でも自分でやった方がいいのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困っている時に言われると頼みたくなるね。 ・ うまく作るためにはその方がいいかも。 ・ 自分でやるべきだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたし」の心の迷いをとらえさせる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">お姉ちゃんに「かしてごらん」と言われた時、「わたし」はどう思ったでしょう。</p>
<p>「わたし」は自分でやろうと決意する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱり自分でやろう。 ・ 自分でがんばるぞ。 ・ 自分の力でやるのが大切なんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で作ったんだ。 ・ 下手でも自分でがんばったのがすごい。 ・ でも笑われるのは嫌だろうな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたし」の自分でやろうと決意した気持ちをつかませる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">「わたし」が自分ではなんとか仕上げたのは、どんな思いからでしょう。</p>
<p>下手ではあったが自分で作ったお面を先生に見せた。すると先生がそのお面をほめてくれた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなに笑われるかと思っていたのに。 ・ がんばったことを認めてもらえた。 ・ 自分の力でやり抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うれしいだろうな。 ・ 自分で最後までやってよかったね。 ・ 自分の力でがんばることが大切なんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたし」の不安からの開放や、自分の力でやったことに対する充実感をとらえさせる。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">「わたし」は、どうして胸の中がふわっとしたのでしょうか。</p>

7 展 開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 今、自分ががんばって取り組んでいることを発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 かけ算九九 鉄棒、縄跳び お手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> 「チャレンジ日記」の中から、今、自分ががんばって取り組んでいることを発表し合い、ねらいとする価値への方向付けをする。
展開 前 段 25分	2 資料「ねこの目」を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験を想起させ、目の穴をなかなかうまく開けられない時の、「わたし」の苛立ちやくやしい思いに共感させる。 苛立ちやくやしい思いへの共感をもとに、「わたし」の心の迷いをとらえさせる。 役割演技を取り入れ、「わたし」の自分でやろうと決意した気持ちをつかませる。 仕上がったお面が下手なことで不安になっている気持ちもつかませる。 「わたし」の喜びをつかませ、不安からの開放や、自分の力でやったことに対する充実感をとらえさせる。 (評)「わたし」の自分の力でやり抜こうとする気持ちをとらえることができたか。
	目の穴がなかなかうまく開かない時、「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> どうして上手くいかないの。 めんどくさい。 くやしい。 うまく作りたい。 	
	お姉ちゃんに「かしてごらん」と言われた時、「わたし」はどう思ったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> やってもらおう。 お姉ちゃんにやってもらった方がうまくいくだろう。 でも自分でやった方がいいのかな。 	
	「わたし」が自分でなんとか仕上げたのは、どんな思いからでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> やっぱり自分でやろう。 自分でがんばるぞ。 自分の力でやるのが大事なんだ。 	
	「わたし」は、どうして胸の中がふわっとしたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> みんなに笑われるかと思っていたから。 がんばったことを認めてもらったから。 自分の力でやり抜いたから。 	
展開 後 段 10分	3 本時の価値に照らして、これまでの自分の生活を振り返る。		<ul style="list-style-type: none"> 今までの自分の考えや行動を振り返らせながら、今後の実践へと結びつけたい。 (評)本時の価値を今までの自分に照らし合わせて、自分を見つめることができたか。
	自分の力で最後までがんばったことがありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。		
終 末 5分	4 自分の力で最後までがんばって取り組んだ児童の作文を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> かけ算九九をがんばって覚えた児童の作文を読み、今後の実践への意欲付けをしたい。

8 評 価

自分でできることは他人の力を借りず、自分の力でやり抜こうとする気持ちが高まったか

9 板書計画

ねじの目

なかなかうまくいかない

場面絵

自分の力でやりぬく

お面の絵

自分でなんとかしあげた

場面絵

「かしてしまえ。」

・ やつぱり自分でやるつ。

・ 自分でがんばるぞ。

・ 自分の力でやるのが大事なんだ。

・ やってもらおう

・ その方がうまくいくだろう。

・ でも自分でやった方がいいのかな。

・ めんどくさい。

・ くやし。

・ うまく作りたい。

場面絵

むねの中がふわっとした

・ わらわれるかも思っていた。

・ がんばったことがみとめられた。

・ 自分の力でやりぬいた。

10 道徳ノート

どじやくノート

「ねじの目」

まじすこ		
まあまあ		
すすんではっぴょうできた		

学しゅうのふりかえり

・ 自分の考えをすすんではっぴょうできましたか。

名前

自分の力でさいごまでがんばったことがありますか。
そのとき、どんな気持ちでしたか。